

チャレンジいっぱい 自分を伸ばす 夏休み

<交通事故0・水の事故0・迷惑0・病気や怪我0、チャレンジいっぱい！>

今年も、子供たちが楽しみにしている夏休みがやってきます。

夏休みの間、子供たちの教育の場は、学校から家庭へと移ります。そこで、日ごろの学校生活では味わえない体験をとおして、子供たちを成長させていただきたいと思います。夏休み明けには、ひとまわりたくましくなった子供たちに会えることを楽しみにしています。

安全で楽しい夏休みとなりますよう、次のことにつきまして御協力をお願いいたします。

〈期間〉 令和5年7月22日(土)～8月27日(日) 37日間

〈こんな夏休みに〉

家庭や地域を中心とした生活の中で、自分のめあてや計画に向かって最後までやり遂げるとともに、夏休みならではの豊かな体験を通して、自主的な生活態度や自律的な生活習慣、社会性を身につけさせましょう。

1 **規則正しい生活**をさせ、やるべきことは計画的に取り組めるように**励ましと見届け**をしてください。

- ・自分で考え、決めためあてや計画したことに継続的に取り組ませましょう。がんばる自分を認め、達成感を味わうことのできる夏休みとなるよう声掛けをお願いします。
- ・暑さの厳しい時季ですが、熱中症に気をつけながら適度な運動をするよう声掛けをお願いします。
- ・早寝、早起きをさせましょう。夜遅くまで起きていることは、子供の心にも体にも悪影響を及ぼします。
- ・インターネットやゲームのやり過ぎも生活リズムを崩す一つの原因になります。保護者として責任をもって管理しましょう。
- ・食事をきちんととらせましょう。育ち盛りの子供にとって、食事をきちんととることは心と体の発達のためにとっても重要です。バランスに気を付け、3食きちんと決まった時刻に食べるようにさせましょう。規則正しい食事が健康を支えます。

2 生活の**約束**を守らせ、**安全な生活**をさせてください。

◎児童用のプリント(裏面)を家族の皆さんで確認し、子供たちを、家族ぐるみ・地域ぐるみで支えていただき、子供たちが約束を守り安全な生活ができるようをお願いします。

- ・交通安全、特に「飛び出しをしない」「自転車に乗る時は、必ずヘルメットをかぶる」は確実に守らせてください。
- ・自分の身は自分で守るために、「知らない人には絶対についていかない」「ゲームセンターやカラオケなどに、子供だけで行かない」「だれと・どこへ・何時に帰るを伝えて出掛け、午後5時の同報無線を聞いたらず必ず帰る」ということを必ず守らせてください。
- ・友達の家には泊まらない。友達同士で泊まり合うことはやめさせましょう。

「やるとよいこと」・「やってもよいこと」・「やってはいけないこと」をきちんと教えてください。「子供に任せる」のではなく「大人が教える」ことも大切です。

3 **家族や地域の一員**としての自覚と協力する態度をもたせてください。

- ・手伝いなど、家族の一員として自分の仕事をもたせてください。「ありがとう。助かるよ。」の言葉が、子供に存在感を味わわせます。また、食後の団らん等家族との心のつながりを一層深めましょう。
- ・ラジオ体操、子供会や地区の行事など、様々な行事があります。積極的に参加し、地域の方とのふれ合いを大切にしましょう。

※万が一、事故や問題等が生じた場合は関係機関に連絡すると共に、学校にもお知らせください。